

## 「卒業生の歩み」

三浦政勝

8 M 昭和32年卒業（1957年）

生徒達に 本物の技術を身につけて欲しい。今経験している事は机上であれ現場であれ卒業後は確実に自分の仕事にプラスになる事を信じて欲しい。自分自身の人生を豊かに出来る鍵がそこにあると考えた方がいいのかも知れない

先生への願い 精神的に頑健な先生であって欲しい。生徒に社会的実践の場を多く与えて欲しい。今でも「あの時、私の先生は・・・」との記憶がある程に、学校での思い出は鮮明だ。そんな先生であって欲しい。

卒業後の歩み 昭和32年 アイレス写真機製作所へ入社  
昭和35年 同社倒産  
昭和36年 富士精密工業(株) (後のプリンス自動車) 入社  
昭和42年 日産自動車(株)と合併  
スカイライン、R380 (レース車) 等々のエンジン及び足回り等の試作開発技術部署に従事  
鈴鹿サーキット、富士スピードウェイ等でのレースを支援し、日本グランプリの獲得に参画  
昭和52年 東京都議会議員初挑戦 (選挙区・三鷹市) 当選  
人生何処でどんな形に変わるかわからない。しかし自分の人生だからと言って自分だけで決められるものでもない。  
そこが絶妙でしかし実に肝心なところだ。  
以来、6期24年間、東京都議会議員を務め、美濃部知事、鈴木知事、青島知事、そして現在の石原知事と対峙して来た  
平成13年、62歳で勇退  
この間に、「母校・中工」の課題について取り上げた事が懐かしく思い出される



都議会本会議場にて

近況 議員引退後、地元の「東京井の頭ロータリークラブ」に入会し、立場を替えて社会奉仕活動に参画している。毎日が充実している